

まとめ

1. 転換点の見極め
2. 谷越えを待って買い、山越えを待って売る
3. 自分に合った時間足を選ぶ
4. 機と気



1. タペストリープライスアクション理論

タペストリー・プライスアクション理論

市場価格はなぜ動くか？

タペストリー
第1理論

- 市場価格はポジションの保有期間により変動する

トレンドとボラティリティ

タペストリー
第2理論

- 市場のボラティリティはキャピタルゲイン狙いの「時間制限のある売買」によってつくられ、トレンドは実需や長期投資などの「保有」によりつくられる

価格がすべての拠り所

プライスアク
ション理論

- 市場価格の変動を利用するすべての資金運用で、唯一信頼にたる拠り所を提供するものは、価格の動きそのものである

2. T P A理論：最も効率的な運用

T P A理論で導かれる最も効率的な運用
すなわち、時間効率的に最大の値幅を確保する運用は
時間制限のある（投機的）売買が
完結しつつあるのを見極めることで得られる

このことは、相場の行き過ぎからの反転を見極めること
「谷越えを待って買い」、「山越えを待って売る」ことを意味する

「谷越えを待って買い、山越えを待って売る」ためには
テクニカル分析を学び
絶好のタイミングを捉える訓練をすることが重要なのだ

この時、出来高を伴っていると、その信頼性が高まるといえる

2. 最も効率的な運用



ゼネラル・エレクトリック (GE) 2000年6月～2010年6月



投資の学校
TOUSHI NO GAKKOU

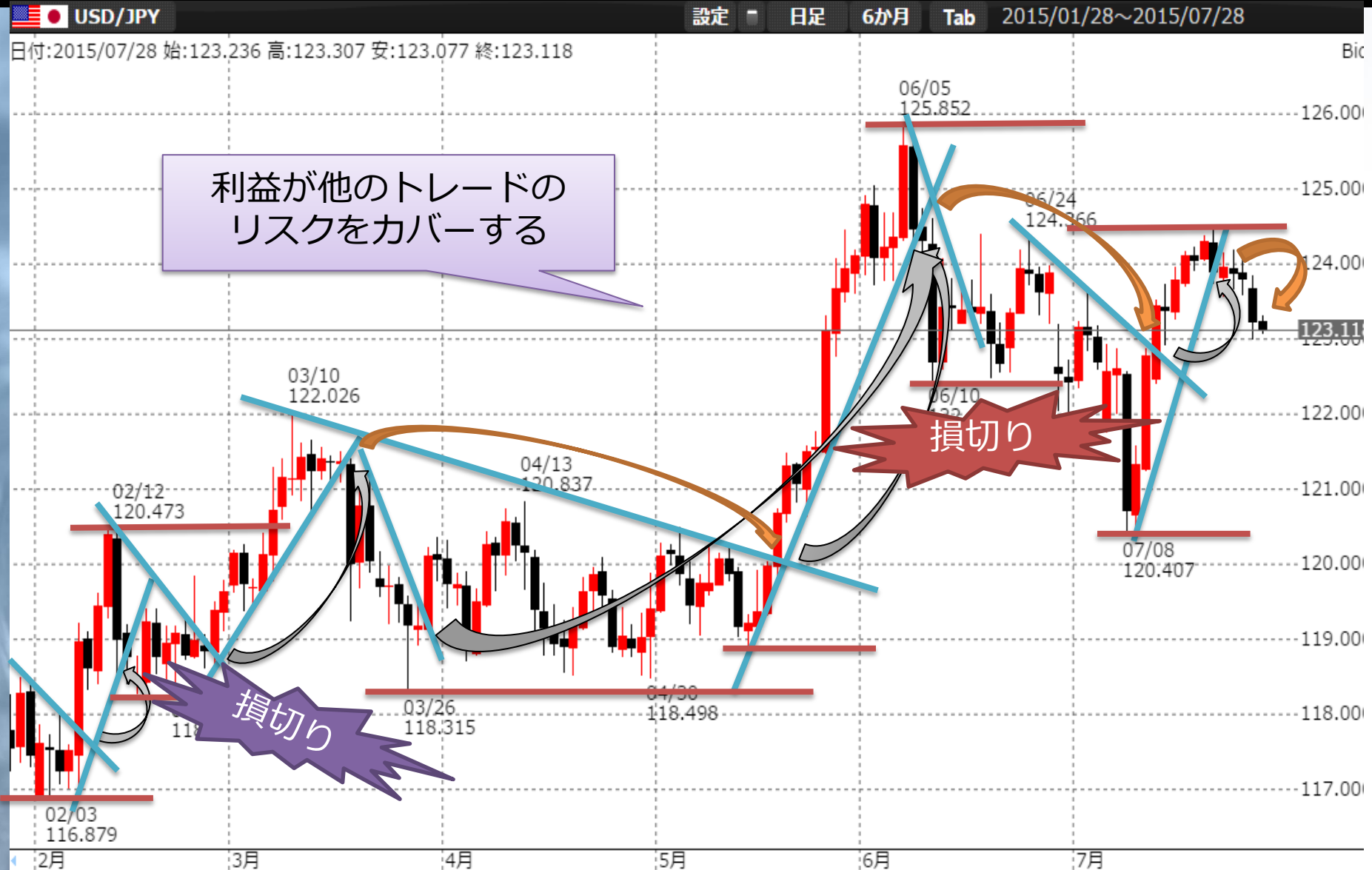
2. テクニカル指標を理解する



2. 素のチャートに帰る



2. リスク管理：利食いと損切り



3. 転換点の見極め



どの時間軸でも山越え、谷越えが狙える



4. 機と気

根拠のある売買をする

Keep It Silly Simple

シンプルに考えることが勝負に勝つ直感を呼び覚ます

1 %ずつ勝率を高める努力をする

こつこつやれば、上達する

1.01の法則： 1.01 の 365 乗 $=37.8$

0.99の法則： 0.99 の 365 乗 $=0.03$

職人芸 = 同じことを繰り返す

4. 収益目標：月間2.5%複利運用

年数	元利合計	年数	元利合計
1月目	102,500	1月目	5,125,000
2月目	105,063	2月目	5,253,125
3月目	107,689	3月目	5,384,453
4月目	110,381	4月目	5,519,064
5月目	113,141	5月目	5,657,041
6月目	115,969	6月目	5,798,467
7月目	118,869	7月目	5,943,429
8月目	121,840	8月目	6,092,014
9月目	124,886	9月目	6,244,315
10月目	128,008	10月目	6,400,423
11月目	131,209	11月目	6,560,433
1年目	134,489	1年目	6,724,444
2年目	180,873	2年目	9,043,630
3年目	243,254	3年目	12,162,677
4年目	327,149	4年目	16,357,448
5年目	439,979	5年目	21,998,949
6年目	591,723	6年目	29,586,140
7年目	795,801	7年目	39,790,069
8年目	1,070,264	8年目	53,513,220
9年目	1,439,387	9年目	71,969,331
10年目	1,935,815	10年目	96,790,749
11月目	1,984,210	11月目	99,210,518
12月目	2,033,816	12月目	101,690,781
20年目	37,473,796	20年目	1,873,689,825
30年目	725,423,367	30年目	36,271,168,373

月間2.5%だと、毎月

運用資金 ¥ 100,000 → ¥ 2,500
 運用資金 ¥ 1,000,000 → ¥ 25,000
 運用資金 ¥ 5,000,000 → ¥ 125,000
 運用資金 ¥ 10,000,000 → ¥ 250,000

月間2.5%の複利運用で、

運用資金 ¥ 100,000が
 10年と2カ月で **¥ 200万円**を超える
 30年目には **7億円**を超える

運用資金 ¥ 5,000,000が
 10年と2カ月で **1億円**を超える
 30年目には **362億円**を超える